

第1回松原地区のまちづくり有識者会議での御意見への対応について

番号	意見の概要	意見への対応	項目
1	大雨等による水害の発生に備え、新しい中央市民センターは、垂直避難が可能となる防災機能を持った建物にしてほしい。	水害を含む災害へ対応する避難所機能の確保について、整理シビジョンに記載（資料3「多目的アリーナ機能」について）。 具体的な防災機能の内容については、今後の基本計画・設計段階において検討。	中央市民センター関係
2	ビジョン素案にある5つの必要機能イメージの中で、子どもの学習機能、歴史学習機能、スポーツができる多目的アリーナ機能の3つの機能を色濃く出せると、年配の方と共に、子どもも新しい中央市民センターを活用する機会が増えるのではないかと思う。	子どもを中心とした幅広い世代の利活用について、整理シビジョンに記載（資料3「子ども学習機能」について、「歴史学習機能」について、「多目的アリーナ機能」について）。	
3	5つの必要機能について、現有機能の利用状況等も含め、様々な面から、何を核とすべきかしっかりと議論する必要がある。	各機能に必要となることや配慮すべきことについて、整理シビジョンに記載。 核となる機能など具体的な内容については、今後の基本計画・設計段階において検討。	
4	棟方志功記念館の改修について、バリアフリー化やエレベーターの設置を検討してほしい。	棟方志功記念館の改修におけるバリアフリー化について、整理シビジョンに記載（資料3「文化・芸術学習拠点機能」について）。 具体的な整備内容については、今後の設計段階において検討。	棟方志功記念館関係
5	棟方志功だけに捉われず、広く青森市の豊かな芸術を引き継いで、未来に向けて、立体的に文化芸術の振興を学ぶ場所であってほしい。	体験コンテンツの充実について、整理シビジョンに記載（資料3「文化・芸術学習拠点機能」について）。	
6	国際芸術センター青森との連携ができるのではないか。	関連施設との連携について、整理シビジョンに記載（資料3「文化・芸術学習拠点機能」について）。 具体的な連携内容については、今後の運営方法を詰めていく段階で検討。	
7	観光客・市民の両者が利活用できる施設になってほしい。	市民・県内外からの訪問者が楽しめる施設となるよう工夫することについて、整理シビジョンに記載（資料3「文化・芸術学習拠点機能」について）。	
8	学芸員、キュレーター、教師等の専門的な人材を配置できる体制を含めて考えてほしい。	専門的な人材の配置について、整理シビジョンに記載（資料3「文化・芸術学習拠点機能」について）。 具体的な体制については、今後の運営方法を詰めていく段階で検討。	
9	土地利用については、将来的な見通しをもって計画する必要がある。	周辺施設との連携イメージについては、土地利用のイメージが分かる資料などを作成し位置付けることを想定（第3回有識者会議で資料を準備）。	建設候補地関係
10	棟方志功記念館の庭園や近くの堤小学校等の周辺施設と一体的に行き来できるような、工事の対象地（赤枠内）以外も歩ける形のビジョンにするべきではないか。		
11	高齢者や身体障がい者の方を意識したバリアフリーの設備を検討してほしい。特に冬期間には思わぬ事故等が起こりやすいため、留意して検討してほしい。	バリアフリー化やユニバーサルデザインについて、整理シビジョンに記載（資料3「文化・芸術学習拠点機能」について、「市民センター機能」について、「多目的アリーナ機能」について）。 具体的な整備内容については、今後の基本計画・設計段階において検討。	施設共通・駐車場関係
12	駐車場は冬期間の除排雪対応も含めて、土地を有効活用するという点で、広く取ったほうが良いのではないか。	今後の基本計画・設計段階において検討。	
13	施設利用者以外も駐車場を利用可能とし、駐車料金を徴収する仕組みとするなど、収入を得ることも考えていく必要があるのではないか。	今後、運営方法を詰めていく段階で検討。	
14	防災等の観点から、地下の活用についても検討が必要ではないか。	防災への配慮について、整理シビジョンに記載（資料3「多目的アリーナ機能」について）。 具体的な内容については、今後の基本計画・設計段階において検討。	
15	現中央市民センターの場所がすべて駐車場になるのは、景観面を含め勿体ないと感じる。駐車場を地下にして上部は公園や庭園のような場所とする、一部分を2階建て程度の駐車場とし公園のようなものと一体化させるなどはできないか。	景観への配慮については、土地利用のイメージが分かる資料などの作成に合わせて整理し記載（第3回有識者会議で資料を準備）。 具体的な内容については、今後の基本計画・設計段階において検討。	